



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org
電話礼拝 03-3431-0250
Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

(週報掲載/Web 動画配信中)

顕現後第3主日

2022年1月23日

礼拝案内

礼拝参加にあたって

※教会ホームページより動画で配信されています。
(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
※歌いまたは唱えるところは、小声で、または心の中で唱えます。
※マスクを着用し、礼拝中、席の移動はお控えください。
※体調や、気分の不調のときは、遠慮なくお申し出ください。
※詳しくは、「礼拝参加にあたって(2021年12月)」等をお読みください。

↑午前7時30分 聖餐式

聖歌 398 377 397

司式：司祭 下条裕章

奨励：聖職候補生 中村真希

↑午前9時15分(隔週/今日はお休み)

こどもとともにささげる礼拝

↑午前10時30分 聖餐式

司式：司祭 下条裕章

入堂聖歌 398

参入 1頁(162頁)

清めの祈り 1頁(162頁)

キリエ 2頁(163頁)

大栄光の歌 3頁(164頁)

特祷

限りなくいます全能の神、天においても地においても万物を支配しておられる主よ、どうか慈しみをもって主の民の願いを聞き入れ、主による平安をこの時代にお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み言葉

旧約聖書 ネへ8章2-10節

詩篇 第19編1-11 (週報4面)

使徒書 1コリ12章12-27節

福音書前聖歌 536

福音書 ルカ4章14-21節

奨励 聖職候補生 中村真希

ニケヤ信経 9頁(166頁)

<諸報告>

代祷 (週報2面) 12頁(168頁)

懺悔 13頁(170頁)

聖餐

平和のあいさつ 15頁(171頁)

奉献聖歌 377

奉献 15頁(172頁)

感謝聖別 [I] / [II] 16(173/176)頁

陪餐にあたって

※マスク着用のまま、お互いの距離をとり、案内に従って座席後方の通路を経て中央通路を聖卓に進みます。
※祝福を希望される方も同様に進みます。
※陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。
※手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。
※マスクを着け(必要があれば手指を消毒し)席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

陪餐聖歌 494

感謝 28頁(182頁)

祝福 28頁(183頁)

派遣

退堂聖歌 397

↑午後5時 夕の礼拝

詩 103 イザ47 ガラ2:1-10

聖歌 377

聖アンデレ教会にはじめて来られた方へ

ようこそ教会へお越しくださいました。歓迎します。お聞きになりたいこと、分からないことなどありましたら、受付担当者までお声がけください。洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。

本日の代祷 <敬称略>

一同立つ。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

ここで「一のために黙祷しましょう」と言って、感謝と代祷の項目をあげ、会衆に黙祷を求めてもよい。また会衆に感謝と代祷の題目を求めてもよい。黙祷に代えて祈り書中の適当な祈りを用いてもよい。

「ことに」の後に適当な名前をあげてもよい。

<わたしたちの教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (フランシスコ・ザビエル高橋宏幸司祭 / スザンナ中村真希聖職候補生、トマス日高馨輔執事)]

教会の諸活動、教会に関わる諸団体の働き

信徒・教役者の宣教・奉仕の働き

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所

聖オルバン教会 (マイケル・D・モイヤー司祭)

東京聖マリア教会、

正義と平和協議会と協議会加盟の諸団体

[東日本宣教協働区(北海道・東北・北関東・東京教区)]

各教区と宣教協働委員会の働き

北関東教区の教会、施設の働き

[日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)]

九州教区 ルカ武藤謙一主教と九州教区のすべての教会、施設の働きのため

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

クリアー・スプリング 聖アンデレ教会

ヘイガーズタウン 聖ヨハネ教会

ハンコック 聖トマス教会

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ナブルス 聖ピリポ教会

[全世界の聖公会

(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)]

香港聖公会のため

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

キリスト教一致祈禱週間 (1月18日~25日)

朝鮮半島の平和と統一を求めて

NCC 東アジアの和解と平和委員会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。すべての聖職と信徒、ことにわたしたちの主教

フランシスコ・ザビエル

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致

させ、日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

各応唱の後に、しばらく黙祷してもよい。

<正義と平和の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに

戦争の終結、世界の平和と和解の実現のため

日本国とアジアの諸国の人びと

世界各国・地域の指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの

家族、友人、同僚、心にかけている人びと

愛と正義と平和の実現のために働く人びと

困難な人びとを支える働きのため、浅草聖ヨハネ

教会日曜給食活動、こども食堂に関わる人びと

洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人、

また入信の志願者が与えられるため

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと

この地域で生活し、働いている人びと

[今月の代祷・信施奉獻先]

- ・主教座聖堂の働きのため (聖アンデレ主教座聖堂)
 - ・視覚聴覚障害者伝道のため (岐阜アソシア、日本盲人キリスト教伝道協議会、盲人聴覚伝道社)
 - ・葛飾学園 (ケアハウス サンピエール、保育園、学童保育) のため
 - ・聖救主福祉会 (深川愛の園、まこと保育園、善福寺愛の園) のため
 - ・女性の家、HELP の働き
- に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください
- 会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある方々のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人の、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため、療養中、困難や悲しみの中

にある人びと、医療と看護、支援に携わる人びと

震災や風水害、世界各地の自然災害、また原子力

発電所事故のため、困難な状況にある人びと

戦争や暴力、犯罪や差別、また軍事基地の存在のため、いのちの危険を感じている人びと
孤独な人、祈りの友のない人、希望を見失いつつある人びと
自由を奪われ、拘束されている人びと
住む場所を追われた人びと

〔病床にある方々〕
を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください
会衆 主よ、お聞きください

<逝去者>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、ことに

〔今週逝去の記念日を迎える方々〕
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてく
ださい。わたしたちは主の証人たちに与えられた主
の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたし
たちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光に
あずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

<お知らせ>

- ◇ 日曜日 10 時半の礼拝参加はグループ制（本日は B グループです）、他の礼拝への参加は事前連絡が必要です。詳しくは、別紙「礼拝参加にあたって（2021 年 12 月）」をお読みください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中（朝 8 時頃から夕方 5 時頃）開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。教会ホームページの一番下、「聖アンデレ教会のいくつかの礼拝をこちらで配信しています」の「こちら」をクリックすると見ることができます。
- ◇ 主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話（03-3431-0250）から音声をお聴くことができます。
- ◇ 昨年の棕櫚の十字架を集めます。教会までお持ちください。灰の水曜日（3 月 2 日）に灰として用います。
- ◇ 「週報」をメール（または FAX）で受け取ることを希望される方は教会までご連絡ください。（教会ホームページには毎週掲載されています。）
- ◇ 教会連絡網への登録をお願いします。メールでの連絡（お知らせ、訃報等）をご希望の方は st.andrews.tokyo.office@gmail.com へ、（FAX で連絡をご希望の方は教会 FAX へ）お名前と連絡先をお知らせください。
- ◇ 住所・連絡先に変更がありますときは、教会まで早速ご連絡ください。

- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。「今、福音に聴く—マルコによる福音書の通読とメッセージ—」ほか。日々の信仰生活にお役立てください。

聖アンデレ教会広報チャンネル



<https://youtu.be/HoijyQiXqSC4>

詩編 第19編 1-11

- 1 天は神の栄光を語り // 大空はみ手の業を告げる
- 2 日は日に言葉を語り継ぎ // 夜は夜に知識を伝える
- 3 言葉でもなく、話でもなく // その声も聞こえないが
- 4 その響きは地を覆い、その言葉は世界の果てに及ぶ // 神は海に太陽の幕屋を据えられた
- 5 太陽は花婿のように住まいを出て // 勇士のようにその道を喜び走る
- 6 天の果てから姿を現し、その果てまで巡り行き // その熱から隠れ得るものはない
- 7 主の教えは完全で、魂を生き返らせ // 主の諭しは変わらず、心に知恵を与える
- 8 主の定めは正しく、心を喜ばせ // 主のみ旨は清く、目を開く
- 9 主の言葉は混じりけなくとこしえに続き // 主の審きは真実ですべて正しい
- 10 金よりもどんな純金よりもすばらしく // 蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い
- 11 あなたの僕はこれに教えられ // それを守って大きな報いを受ける

本日・今週の予定

23日(日) 顕現後第3主日

- 7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

13時 城南グループ協議会(ZOOM)

24日(月) 7時半 礼拝

サム下 5:1-7,10 詩 89:19-27 マコ 3:22-30
※中村聖職候補生定休

16時 常置委員会 (下条・ZOOM)

25日(火) 使徒聖パウロ回心日

7時半 礼拝
使 26:9-21 詩 67 ガラ 1:11-24 マタ 10:16-22

26日(水) サム下 7:4-17 詩 89:19-27 マコ 4:1-20

※下条司祭定休

16時半 外出予定 (中村)

19時 結婚準備

27日(木) 7時半 礼拝

サム下 7:18-19,24-29 詩 132:1-5,11-14 マコ 4:21-25

18時半 教役者研修会 (下条・中村)

28日(金) 7時半 礼拝

サム下 11:1-10,13-17 詩 51:1-5,8 マコ 4:26-34

午後 外出予定 (下条・中村)

29日(土) 7時半 礼拝

サム下 12:1-7,10-17 詩 51:10-15 マコ 4:35-41

30日(日) 顕現後第4主日

- 7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
エレ 1:4-10 詩 71:1-6,15-17
1コリ 14:12-20 ルカ 4:21-32
入堂聖歌 314 退堂聖歌 419
17時 夕の礼拝

午後 会計監査

今週のメッセージ

今日の旧約聖書はネヘミヤ書が読まれます。登場する「祭司エズラ」、そしてネヘミヤ、共にイスラエルの民がバビロン捕囚から帰還した際、イスラエルの再建のために尽力し、活躍した人物たちです。今日の箇所では、エズラが「律法の書」、すなわちイスラエルの信仰の基とも言える聖書の言葉を朗読し、民に聞かせる場面が描かれています。

40年もの長きに渡る異国の地での生活は、イスラエルの民のアイデンティティや信仰を薄め、あるいは墮落させ、本来あるべき姿を失わせることともなりました。もちろんその中でも必死に信仰を訴え、神との結びつきを強調した信仰者たちもいたからこそ、イスラエルの信仰はそこで絶えることはなかったのですが、いざ自分の国に戻っても、律法遵守による信仰生活や祭儀を行ったりすることをすっかり忘れた民にとっては、今さら何をすればよいのやらと困惑もあったでしょう。はたまたイスラエルの民を再び立ち上がらせようとする指導者たちも、自分中心で生きる民に対し、神を中心とする生き方への促しは苦勞が絶えなかったことは想像に難くありません。実際にネヘミヤ、エズラの苦勞は聖書に描かれています。

そのかいあって(?)今日の箇所でイスラエルの民は、改めて律法の言葉を耳にし涙を流してそれを受け止めたと書いてあります。彼らはすっかり忘れていた、自分たちの信仰の基、自分たちが立っている場所に気づくことができたのです。すなわち、救いの神が彼らと共にあって導いているということ、彼らはその神に応答すべく生きているということです。「主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である」。ネヘミヤとエズラは民に告げます。共にいて救ってくださる神の存在に気づいたとき、彼らは心の奥底から湧き上がる喜びと感謝をもって、また歩み出していける。それがみことばを通して、改めて思い起こされたということなのでしょう。

イエス・キリストの時代から2000年以上経った今、私たちは遠く離れたこの場所で信仰者として生活しています。果たして私たちの信仰生活は神を基とし、イエス様が示された道の上に成り立っているのでしょうか。迷ったときはいつもみことばに立ち帰ること。神様はいつでも私たちが悔い改め、戻ってくるのを待っていてくださるのです。

聖職候補生 スザンナ中村真希